

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 8日 更新

事務事業名		校舎等施設修繕事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	青木洋治
	施策	19	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	栢 裕介
	基本事業	66	教育施設の整備			所属班	総務施設班	(内線)	2226
予算科目		会計一般	款 10	項 1	目 2	事業連番 10719 他	法令根拠	成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校施設の維持向上のための工事を行う。毎年不具合のある学校施設の復旧を行なっているもので、当然必要なものである。特別な変化はない
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	設計業者を決定し、学校の要望を確認しながら実施設計を完了し、入札や見積もり競争により施工業者を決定する。
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	特別にはない
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	市内10校の修繕等の工事を行った。	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		市内10校の修繕等の工事。(平成22年度に予算化して平成23年度へ繰越した事業あり)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
⇒ ア 工事件数		平成22年度当初予算は骨格予算であったことから、投資的予算が反映されていないため。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
市内小中学校の施設、施設利用者		⇒ ア 学校数 校
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
適正な状態に復旧する		⇒ ア 修理を行なった学校数 校
		⇒ イ 修理を行なった学校の復旧割合 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
市内10校の修繕等の工事を行い、適正な状態に復旧するため。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 件		10	34	27	23	19	30	30
	イ								
	ア 校		10	10	10	10	10	10	10
② 対象指標	イ								
	ア 校		7	10	10	10	10	10	10
③ 成果指標	イ %		100	100	100	100	100	0	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	58,492	321,157		635,971	17,989	
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円	119,500	116,198		121,100	118,000	
		その他	千円				8,952		
		繰入金	千円		15,300				
	一般財源	千円	22,485	11,671	19,702	63,745	23,631		
人件費	(A) 事業費計	千円	200,477	464,326	19,702	829,768	159,620	0	0
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(B) 人件費計	千円	15,600	15,522	15,522	16,191	16,068	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	216,077	479,848	35,224	845,959	175,688	0	0	

総トータルコスト
全体計画
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	校舎等施設修繕事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	-----------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 設計を行い、工事を発注する予定である。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 実施設計を行なっているため、現状維持が妥当である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に方法がなく妥当である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適正な規格や品質があり、それらを実施設計の中に反映している。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小の人員で対応しているので、余地がない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 学校は公共施設であり、施設の安全確保は当然の義務である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 専門性のある業務であるため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

<p>施工業者を決定し市内10校の修繕等の工事を行うことができた。</p>

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						